

平成29年度事業報告書

I 運営に関する事項

会員数

平成30年3月31日 時点 : 78

【正会員個人】 39 /【特別会員】 31 /【賛助会員】 8

II 神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

- ・平成29年度も、神奈川区・地域との協働の基、すくすくかめっ子事業・こんにちは赤ちゃん訪問事業・子育て支援者事業・外遊び活動支援事業等、様々な子育て支援事業や、福祉保健センター等各機関・施設・学校、地域の団体・個人、民間・企業と連携した、多岐にわたる事業を展開しました。各種事業の振り返りを通して、新たなニーズを掘り上げ、双方向のネットワークを深め、広げました。
- ・妊娠期から子育て期（未就学児とその保護者）の数多くの親子が、地域の“場”を訪れ、ふれあう日々を重ねました。日常的な繋がりの中で、子育てに関する悩みにとどまらず、互いに支え合う様子が伝わってきました。
- ・拠点という週5日の常設の“場”には、子育て中の人、地域の支援者、関係機関等、様々な人が日々訪れ、そこにコーディネーターとしてのスタッフが常駐することで、思いもよらぬ掛け算の効果が発揮される機会や繋がりが生まれます。拠点利用者が様々な体験から自身の力を蓄え、磨き、地域の支援者や新たな分野の担い手となっていく、人材の循環も、日常のこととなりました。こうした人材が、また違う角度からの情報や、繋がりに、拠点を結び付けてくれました。
- ・平成29年度、よこはま地域子育て支援拠点ネットワーク（18区の拠点による自主グループ）と横浜市、各区との連携の基に、有識者の力を借りて、拠点の効果を数値的に立証する18区のアンケート調査を実施しました。次年度はアンケート結果を分析・検証し、発信する機会に繋がります。
- ・利用者支援事業が加わって2年。相談機能・情報機能・ネットワーク機能の強化に繋がりました。

① 目的	市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与する。
② 対象者	・未就学児とその養育者(父母・祖父母等)、妊娠期のプレママ・パパ ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・機関・施設・学校・企業・民間
③ 実施場所	・主たる施設：神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階 ・サテライト施設：沢渡三ツ沢地域ケアプラザ 羽沢長谷自治会館
④ 実施日時	通年、火曜日～土曜日 241日 (休館日：日曜日、月曜日、祝日、年末年始、月曜日が祝日の場合は翌日) ・拠点ひろば：9時半～15時半 ・沢渡・羽沢サテライト：10時～14時半 ・子育てサポートシステム事務局：9時～17時 ・利用者支援事業：9時半～15時半
⑤ 従事者	常勤者7名・非常勤者8名・ひろばスタッフ8名・利用者支援事業スタッフ1名
⑥ 年間登録者数	1469人（累計 17499人）
⑦ 年間利用者数	35002人（大人15692人／子ども16442人／支援者2868人）145人／日 父親の利用：947人 祖父母の利用：226人 プレママ・パパ：311人 きょうだい数：2488組
⑧ 拠点外での参加者数	*⑦の利用者数には含まれない人数 7068人 ケアプラザ・地区センター・中学校・プレイパーク・地域グループとの共催事業 出前事業・利用者支援事業出前プログラム 126回

⑨ 1年間の事業報告（機能別）

1) 親子の居場所事業

- ・拠点利用年数が長い、きょうだい児親の利用が増えました。当事者間の支え合いが育まれています。
- ・「お互いさまで迷惑かけあって育てあおう」の文化を伝え合う工夫と事業を展開しています。
- ・拠点が、多様な利用者の居場所として、交流や支え合いを生み出す「場の力」が育っていると感じます。
- ・妊娠期、産後数ヶ月の親を対象とした事業を実施することで、ひろば利用や地域に繋げ、ケアをしました。

定例のトークタイム

- * 療育おやこ&うちの子気になるトーク
- * 国際交流・仲間トーク
- * 双子三つ子の子育てトーク
- * アラウンド40の子育てトーク／更年期ってなあに？
- * 子育てと仕事(保育園長)／ワーキングママのおはなし会
- * 初めまして赤ちゃんトーク
- * おはなし&トーク(イヤイヤ期)
- * カウンセラーとみんなでトーク・心の整理術
- * 親子ふれあい遊び・赤ちゃん編
- * パワー全開！親子で新聞紙遊び
- * 生まれる前から知っておきたい赤ちゃんが泣いて困った時の対処法(プレママ・0歳児親対象)
- * 初めまして赤ちゃんプログラム(初産・生後3カ月までの親対象)

大型イベント

- * リサイクルマーケット
- * 子どもフェスタ(区制90周年事業)
- * 笑いでつながる親子音楽タイム

その他

- * 防災関係プログラム

利用者による自主的なトークタイム

- * ランドセルトーク(学齢期トーク)
- * 九州人・関西人・北海道東北人(出身地域別)トーク
- * アラウンド40トーク
- * アラウンド20トーク(次年度の企画)

2) 子育て相談事業

- ・年間ひろば相談7749件／相談者4881人
- ・年々相談内容が深刻化する中、利用者支援事業・横浜子育てパートナーと連携し、専門相談へも繋がりました。
- ・区保健師と、常に連携を図り、定例会議月2回の中で、課題を共有しています。

定例の専門相談

- * 専門相談員による相談(臨床心理士・言語聴覚士)
- * 乳幼児食生活相談(栄養士)
- * 女性の悩みなんでも相談(みずら)

3) 子育て情報の収集と提供事業

- ・区内の子育て情報を収集、整理した「地域別子育て情報カレンダー」冊子を継続して更新・発行、地域の様々な場に配布し、区内全域に子育て情報を届けました。
- ・幅広い情報を、分かりやすく整理・掲示し、個々のニーズに沿って提供しました。また、区内で子育て支援に関わる個人・施設への情報提供・発信の場として機能しています。
- ・利用者支援事業と連動し、暮らしに関わる情報がテーマ別に収集され、発信が強化されました。
- ・ホームページに「チラシ欄」を新設し、スマホ等でどこでも検索できるようになりました。
- ・民間情報も、テーマ別に整理し、掲示しました。

定例のプログラム

- * 商業地イオンスタイルにて情報提供・情報ラック整備
- * 各種出前かなーちえ事業にて情報提供

定期発行

- * 通信(5500部／151ヶ所)・ホームページ
- * 区報「子育て掲示板」(毎月)
- * 地域別子育て情報カレンダー(497セット)

4) 子育て支援者のネットワーク事業

- ・地域の様々なネットワーク・かめっ子・保育園・幼稚園・施設・機関・グループ・学校・民間・企業等との連携、共催事業等を通して、日常的に顔と顔の見える関係が深まり、地域の課題解決に向けて、施設間の専門性、資源が交換され、新たな取り組みに発展する事例が増えました。
- ・地域課題の解決に向けて、国際交流・療育親子・図書館と区内読み聞かせグループ・区内で先駆的なことに取り組む団体・民間、テーマ別のネットワーク活動や、複数の子育て当事者グループが地域活動を展開しました。

いろいろな人の知恵と力…ちえのわタイム

- * おはなし会
- * リラックス音楽タイム
- * 産後ピクストカラダのお話
- * 地域グループの活動紹介タイム
- * おもちゃ病院 等

行政・施設・グループ・企業との共催事業等

保育所子育て支援連絡会
神奈川県消防署・出張所、野毛山動物園
市民病院、図書館、地域作業所、財務局
はぐはぐ神奈川、ぶらり～子連れ旅、横浜友の会
地区わ job
神奈川ロータリークラブ、メガロス、JEXER 他

関係機関との会議（定例会議）

拠点会議／拠点施設長会議／情報担当者会議
よこはま地域子育て支援拠点ネットワーク会議
横浜市広報審議会
子育て支援委員会／こんにちは赤ちゃん訪問事業
意見交流会／児童虐待DV防止連絡会／外遊び活動
支援事業／保育所子育て支援連絡会／かながわ支え
愛プラン策定委員会／区制90周年実行委員会／地域
施設間連携会議／図書館意見交流会／六角橋地域
ケアプラザ運営協議会・地域計画会議／新子安地域ケ
アプラザ・子ども未来会議／東部療育ビル施設長会議

対象者別

- * 街活HAHAのおしゃべりタイム
- * パパ講座・父親と子どものふれあい遊び・ベビーマッサージ／孫育て応援講座
- * マタニティヨガ・ソーイング・おはなし会等、妊娠期対象プログラム

子育ての輪を広げたい…出前かなーちえ

- * 外遊びの出前(反町公園・白幡の森プレイパーク・きらきらプレイパーク)
- * 外遊び応援隊との共催(西寺尾・三ツ沢・羽沢)
- * 地域ケアプラザ(7館)の共催事業 26回
- * 地区センター(2館)との共催事業 6回

定期開催のネットワーク

- * 療育おやこネットワーク(#ハッシュタグ井どばたカフェ)
- * 図書館と読み聞かせグループのネットワーク(かなぶつく)
- * 国際交流・協力関係グループとのネットワーク(神奈川区に多文化共生をすすめる会)
- * 共創を目指す繋がり合い(横の糸ネットワーク)

5) 子育て支援に関わる人たちの人材育成・活動支援事業

- ・講演会・ネットワーク交流会・学びタイム・ワークショップ等を、年間を通して多様に開催しました。
- ・“子育てを通して、人が支え合う、地域づくりの大切さ”について学び合い、発信する場として機能しています。年間を通して、学生のボランティアを受け入れ、事業に繋げました。
- ・地区①job、子育て当事者グループの学習会・交流会等を開催し、各グループをサポート、地域に繋げています。

- * 区民向け子育て講演会 「子どもの自尊感情ってなあに？」 日本ウェルネススポーツ大学 近藤卓先生
- * ネットワーク学習会・交流会 子育て中の人 参画はぐくみ工房 竹迫和代氏
昔遊び 元松見保育園園長 齊藤幸子先生
外遊び まちづくりプランナー 矢郷恵子氏
障がい理解 gift
ヨコの糸ネットワーク しえあひるざヨコハマ 荒井聖輝氏／地区わ job 石川澄江氏
学びタイム 山梨県立大学 田中謙先生／世田谷区プレーリーダー 嶋村仁志氏
- * 中学校との共催授業(栗田谷・浦島丘) * 神奈川学園高校部「ママカフェ」協力 * 神奈川小学校理科授業協力
- * 学生ボランティア ひろば体験(延80人) * 学生・職員実習(延206人)
- * 地域ボランティア ひろば・ソーイング・折り紙・指編み(延206人)
- * 当事者企画 ジョギング・なかまトーク・ハンドメイド・パパライブ・パパトーク

6) 子育てサポートシステム神奈川区支部事務局運営事業

- ・増加する利用会員のサポートに対応するために、区・学校・自治会の協力を得て、両方・提供会員の拡充に努めました。また、ニーズに沿った丁寧なコーディネートを通して、制度の狭間をサポートしています。
- ・親と子のつどいの広場やサテライトで、説明会や利用体験・おためし保育を開催しました。
- ・様々なニーズに沿って、きめ細やかにコーディネートを行いました。

会員数

- * 利用会員 846人 (812人)
- * 両方会員 95人 (91人)
- * 提供会員 163人 (139人)
- * 合計 1104人 (1042人)
- * ()内は平成28年度

- * 入会説明会 参加人数 506人
集団説明会(かなーちえ) 26回
出張説明会 5回
個別説明会 83回
- * 援助実績 5468件(5645件)
- * 研修会1回・交流会1回

7) 利用者支援事業

- 子ども子育て支援新制度に基づき、平成28年1月から横浜市18区の地域子育て支援拠点における利用者支援事業がスタートして2年が経過しました。研修を受けた専任スタッフ「横浜子育てパートナー」が担当しています。①個別支援②地域連携を2本柱に、子育て家庭の包括的支援を目指しています。拠点の6機能に新たな機能が加わり定着することで、情報、相談事業の厚み、ネットワーク先の広がり等大きな効果を生み出しています。

- *妊娠中の人、子育て中の人、困り事や悩み事に、寄り添いながら、必要な支援に繋がりました。年間相談件数、約230件…離婚、介護、親の心身の不調、家族問題、障がい、子どもの預け先等
- *子育て家庭の“伴走者を増やす”ことを目的に、区内の広場や居場所に出向いて、地域の親子や支援者と出会いました。親と子のつどいの広場出張相談、「子育て期の情報お役立ちファイル」区内200ヶ所に配布
- *かなーちえの地域ネットワークや、事業と連動した支援を、展開しました。地域課題からネットワークの輪を深める方向性を模索しました。区内各所で共催事業に取り組みました。地域包括支援センター共催「ダブルケアカフェ」、地域生活支援センター共催「メンタルヘルス講座ココロ♥カフェ」、「保育・教育コンシェルジュと話そう 保育のお話基本のキ」「幼稚園選び100人いれば100通り！」かなーちえ「シングル親&ステップファミリートーク」「心・カラダほぐし ほっと気功」「マザーズハローワーク出張セミナー」

Ⅲ すくすくかめっ子事業

- 新たに、かめっ子訪問事業を開始し、専任スタッフが訪問しました。また、各地域の状況に合わせ、会場の移転や支え手の交代等、日常的に相談に応じました。
- 保育所子育て支援連絡会と共催し、「みんな de 子育てワイワイパーク」を開催しました。(9会場)
- 神奈川大学のボランティア学習論・フィールドワーク等、学生の学習・研修の場として、協力しました。(3会場)

① 目的	すくすく子がめ隊の支え手や利用者のニーズを把握し、今後の事業の方向性について検討し、円滑な事業運営に活用する。 すくすく子がめ隊と地域の子育て支援に関わる個人・グループ・施設とのネットワークづくりを行う。
② 対象者	・すくすく子がめ隊の支え手 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設・保育園
③ 実施場所	・全体交流会・研修会： 神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ ・方面別交流会： 地域ケアプラザ(菅田・六角橋)、地区センター(神之木)、神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ ・かめっ子(親子のたまり場)訪問： 沢渡・菅田南・菅田東・六角橋北原・神之木西寺尾
④ 実施内容	<p><全体交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月「子どもを真ん中に♪この先の”かめっ子”をみんなで描きたい」 講師：まちづくりプランナー 矢郷恵子氏 ・参加者 67人/かめっ子25地区、保育園4園 <p><方面別交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～9月「かけがえのない“他孫”を地域で育てるために 今ドキの子育てを学ぶ！ 目から鱗タイム」講師：孫育て・ニッポン ぼうだあきこ氏 ・参加者 117人/かめっ子29地区、ケアプラザ、地区センター、区民活動支援センター、保育園、図書館、子育て支援者、子育てサポートシステム提供会員、保育ボランティアこぶし 親と子のつどいの広場、地域ボランティア、メガロス、まあはす、スタジオ19、あいあい <p><全体研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月「産まれるまでは世界一 産んでからは一人ぼっち 日本の産後の暮らしを学ぶ」 講師：孫育て・ニッポン ぼうだあきこ氏 ・参加者 46人/かめっ子19地区 <p><季刊紙発行></p> <p>4回発行</p>
⑤ 従事者	常勤者6名・非常勤者3名・訪問スタッフ1名

IV 親と子のつどいの広場事業（しゅーくるーむ）

① 目的	親子が気軽に集い、交流できる居場所を、身近な地域で利用できるよう取り組む。 テーマ「みんなで育ててみんなで育つ」
② 対象者	・未就学児とその親 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設
③ 実施場所	・菅田町 2299-1 ライフネットスポーツクラブ内クラブハウス
④ 実施日時	通年、火・木・金曜日 130日 (休館日：祝日、夏期、年末年始、第2木曜日) ・10時～15時
⑤ 従事者	常勤者8名・非常勤者1名
⑥ 年間登録者数	66人
⑦ 年間利用者数	3804人(大人1577人・子ども2227人) 29.3人/日

⑧ 1年間の事業報告（機能別）

1) 子育て親子の交流、つどいの場の提供

- ・子連れスタッフがなくなり、今までスタッフが行っていた利用者同士を繋ぐ「パイプ役」を、常連の利用者が積極的に担うようになり、場が育っていることを感じました。
- ・午前中だけ広場で過ごす、幼稚園帰りに遊んでから家に帰る等、利用者のライフスタイルの中に、広場で過ごす時間が定着してきているように感じています。
- ・月2回、地域作業所のパン販売の出前があることで、利用者の増加に繋がりました。
- ・利用者一人ひとりに合った関わり方（話を聞いてもらいたい・ゆっくり本を読みたい・情報を知りたい等）をスタッフが心がけ、工夫することで、居心地の良い雰囲気づくりに努めました。

2) 子育てに関する相談、援助の実施

- ・スタッフは利用者の声に耳を傾け、相談内容によっては区で行われている相談日や、各機関・保育所等の情報を伝えたり、チラシ等を設置し、利用者自身が選択できるような援助を行いました。
- ・広場で起きた様々な事例に関しては、スタッフ間で共有し、互いの意見を交換し、しっかりと話し合うことで、一人ひとりが様々な状況に対応できるようなスキルを、身に付けることに繋がりました。
- ・隔月1回、利用者支援事業・子育てパートナーが来室（相談や情報発信）
- ・利用者の不安や悩みを共有するトークタイム（しゃべりタイム）を設け、情報交換や気持ちの共有ができる場を提供しました。

3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・地域や施設、地域子育て支援拠点と連携し、情報収集に努め、整理し、利用者が手に取りやすいように、掲示したり、各々のニーズに応じて、スタッフから手渡しました。

4) 子育て及び子育て支援に関する講習の実施

定例プログラム 月1回

- * 遊ぼうデー
- * 赤ちゃんデー
- * 誕生日会
- * しゃべりタイム

その他プログラム

- * リサイクルマーケット 2回
- * 当事者企画 1回
- * 講演会 1回(高橋なぎさ氏)
- * 運動イベント(皆川翔太氏)
- * 歯科衛生士による歯磨き指導
- * 共催事業「かなちく子育て応援タイム」
- * ストレッチタイム
- * ハロウィンイベント(若竹苑)

5) 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関等との連携

- * すくすくかめっ子事業・方面別交流会
- * 福祉保健センター地区担当保健師
- * 保育・教育コンシェルジュ
- * 地区センターとの共催企画の実施

V 親と子のつどいの広場事業（ほしのひろば）

① 目的	誰でも、どんな時でも気軽に立ち寄り、のんびり過ごし、他の親子と交流できるよう取り組む。 テーマ「ほっとできる居場所 ☆ほしのひろば」
② 対象者	・未就学児とその親 ・子育て支援活動を行なっている個人・グループ・施設
③ 実施場所	星野町 10 番 ヒストリア海舟 202 号
④ 実施日時	・通年、月曜日～金曜日 222日 (休館日：祝日、夏期、年末年始、第3金曜日) ・9時30分～15時
⑤ 従事者	常勤者7名
⑥ 年間登録者数	93人
⑦ 年間利用者数	4405人(大人2061人・子ども2344人) 19.8人/日

⑧ 1年間の事業報告（機能別）

1) 子育て親子の交流、つどいの場の提供

- ・プログラムを徐々に減らし、自由な時間を増やすことにより、短時間や長時間の滞在等、その時々ニーズに合わせた、ひろば利用の様子がありました。
- ・昨年度より利用者が1150人増えていることから、ひろばの身近な「場」としての機能を求められていることを実感しています。
- ・プログラム以外の時間に、利用者同士が交流し、互いの子どもを見合う姿が見られるようになりました。
- ・民生委員児童委員、主任児童委員、子かめ隊や老人会の協力を得ることで、七夕やクリスマス等季節のイベントへの参加に繋がりました。地域住民との顔と顔が見える関係づくりの機会となりました。
- ・ハロウィンパレードと避難場所確認のイベント時に、地域にできた高齢者マンションを訪問する機会を設けました。普段は接する機会が少ない入居者の人と短い時間でも世代間交流することができました。今後も交流の機会を工夫していきます。

2) 子育てに関する相談、援助の実施

- ・利用者ひとりひとりに気を配り、気軽に話のできる雰囲気づくりに努めました。
- ・3ヶ月に一度、横浜子育てパートナーの訪問日を設けることにより、利用者が直接、保育園情報等を聞く機会になりました。
- ・地区担当の保健師訪問日を初めて設けました。当日は体重を測ったり、離乳食等の相談をする姿が見られました。平成30年度は定期的に時間を設けます。

3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・市・区や地域子育て支援拠点から届いたチラシ等を、利用者自身が選び、手に取りやすいよう、ウォールポケットを購入し、設置場所を工夫しました。
- ・マンション入り口のひろばの看板にも地域情報を設置し、ひろばに立ち寄る時間がなくても情報が手に取れるようにしました。
- ・近隣スーパーと交渉し、掲示板に子育て支援情報のスペースを設け、ひろばを利用しない居住者にも子育て情報が届くよう努めました。

4) 子育て及び子育て支援に関する講習の実施

定例プログラム 月1回

- * ベビーマッサージ
- * えいごあそび
- * 音楽ひろば(リミック)
- * ピラティス、ヨガ
- * 3B親子たいそう

その他プログラム

- * おゆずり会(年2回)
- * 幼稚園座談会
- * 歯科相談

5) 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関等との連携

- * コットンハーバー地区すくすく子がめ隊主催 「ミニミニ運動会」
- * コットンハーバー自治会/マリナゲート自治会主催 「コットン祭り」
- * YMCA東かながわ保育園協力 広場での相談日(月1回)
- * 利用者支援事業・子育てパートナー出張相談
- * 地区担当保健師・民生委員児童委員、地域ケアプラザとの地域連携ミーティング(年4回)